

1 もうひとつの屋久島から



- ① 武田剛/著
- ② フレーベル館
- ③ 1500円
- ④ 29タ018

樹齢数千年の屋久杉が生息し、平成5年に世界自然遺産に登録された屋久島。その屋久島では、世界自然遺産登録前には、森林の大伐採が行われていたという事実がありました。

豊かな自然を守り伝えることの大切さや難しさを感じさせてくれるドキュメンタリーです。

2 救助犬エリーの物語



- ① W. ブルース・キャメロン/作
西本かおる/訳
- ② 小峰書店
- ③ 1400円
- ④ 31キ018

とても賢くて勇敢な犬、エリーの<シゴト>は、人を助けること。人間のにおいを追跡して、行方不明の人を見付ける救助犬です。この本は、救助犬の訓練や、任務を通じた成長の様子を、エリーの目線を通して語られています。犬と人間がお互いを信頼し合い、協力し合う、心温まる物語です。

3 みぢかな樹木のえほん



- ① 国土緑化推進機構/編
平田美紗子/絵
- ② ポプラ社
- ③ 2500円
- ④ 65コ018

私たちの身近にあるサクラやカエデ、スギなど樹木30種の生態だけではなく、樹木と生物のつながりや樹木と私たちの暮らしとのつながりなど、いろいろな側面から樹木を紹介しています。

たくさんのイラストもあり、樹木について楽しく学びながら、生物の多様性について知ることができる作品です。

4 みんなちがって、それでいい



- ① 宮崎恵理/著
- ② ポプラ社
- ③ 1300円
- ④ 78シ018

「沙絵の手は、そのうち生えてくる？」幼い頃、母親に問いかけた重本（旧姓：辻）沙絵選手。重本選手は、生まれたときから右腕のひじから先がありませんでした。

小学5年生からハンドボールを始め、大学でもハンドボールを続けていた重本選手に、パラリンピック陸上競技出場という転機が訪れます。

5 ぼくのわがまま宣言！



- ① 今井恭子/著
- ② PHP 研究所
- ③ 1200円
- ④ 91イ018

東京に住んでいたぼくは、父の海外勤務と母の昇進で、田舎のおばあちゃんの家で一人で引っ越すことになりました。

小学4年生までの、父と母の3人で生活していたのとは一転、小学5年生から始まったおばあちゃんと二人の田舎暮らしは、クラスがえのない始業式から始まります。どんな生活が待っているのでしょうか。

6 よりみち3人修学旅行



- ① 市川朔久子/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91イ018

離れて暮らす父親に会うために、小学校を卒業した春休み、3人組は特急に乗り、泊まりがけで子どもだけの修学旅行にでかけます。課されたミッションは「旅のとちゅう、卒業アルバムに寄せ書きをしてもらうこと」それも、知らない人10人に。3人と一緒に、いろんな人に出会う冒険にでかけてみませんか。

7 流星と稲妻



- ① 落合由佳/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91才018

学校の出前授業で模範試合をすることになった体格も性格も違う善太と宝。二人が剣を交えるうちに、お互いをライバルと意識して切磋琢磨し、たくましく成長していく物語です。

登場人物の悩みや葛藤に共感しながら、また、試合の場面では手に汗を握りながら読み進めることができる作品です。

8 となりの火星人



- ① 工藤純子/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91ク018

「火星って、赤くて火の星って書くくせに、すげえ寒いんだって。」実は教室の中の隣の友達も、見た感じとはちょっと違うかもしれません。この本に出てくる登場人物はそれぞれ自分に「困っている子供たち」。「困った子」に見えて実は「困っている」のです。自分のこと、友達のことをちょっぴり好きになれるお話です。

9 兄ちゃんは戦国武将！



- ① 佐々木ひとみ/作
浮雲宇一/画
- ② くもん出版
- ③ 1300円
- ④ 91サ018

11才違いの兄ちゃんは、「本当にやりたいことが見つかった」という理由で、大学をやめてしまいます。

実は、兄ちゃんは専門学校で芝居を学び、劇団にも入って役者修業に励んでいたのです。仙台で、伊達政宗を名乗っている兄ちゃん。東京から兄ちゃんに会いに行った、小学5年生のぼくが感じたものは。

10 ビター・ステップ



- ① 高田由紀子/作
おとないちあき/絵
- ② ポプラ社
- ③ 1300円
- ④ 91タ018

大好きだったオシャレなおばあちゃんは、病気をしてから、地味で、怒りっぽくて、わがままな人になってしまいました。家族だから、我慢してお世話しないといけない？我慢するのが家族なの？気持ちをぶつけあいながら、新しい形を探す家族の始まりのお話です。

11 ソーリ!



- ① 濱野京子/作
おとないちあき/画
- ② くもん出版
- ③ 1300円
- ④ 91ハ017

小学校一年生の夏、照葉が短冊に書いた「ソーリだいじんになりたい」という将来の夢は、「女のくせにおかしい」とからかわれてしまいます。でも、何で自分とは違う考えを押し付けられなければいけないんだろう。個性豊かな人々との関わりの中で照葉は大切なことに気が付きます。

12 十年屋



- ① 廣嶋玲子/作
佐竹美保/絵
- ② 静山社
- ③ 1200円
- ④ 91ヒ018

ずっと大事にしていたぬいぐるみ、大好きな人からもらった写真……。様々な理由で保管場所に困っている人の元に届く不思議な案内カード。捨てられないもの、捨てたくないものを10年間、思い出といっしょに魔法で預かる「十年屋」。その代わりに自分の寿命1年と引き換え……。さあ、あなたならどうしますか？

13 凸凹あいうえおの手紙



- ① 別司芳子/作
ながおかえつこ/絵
- ② くもん出版
- ③ 1400円
- ④ 91へ018

大地の学校では、今年から地域の方を招待して交流会を実施しています。ところが、大地が手紙を届ける佐山さんだけは、いつも返事が来ません。直接手紙を渡せば返事がもらえると思い、何度も訪ねてようやく見かけた佐山さんは、白い杖をついていて、目が不自由だったのです。点字に気付いた大地がとった行動とは。

14 お母さんの生まれた国



- ① 茂木ちあき/作
君野可代子/絵
- ② 新日本出版社
- ③ 1500円
- ④ 91モ017

今から40年ほど前に激しい内戦があったカンボジア。未来（主人公）のお母さんはこの国で生まれました。子どもの頃、この内戦で両親や兄弟を亡くした母さんは、難民として日本へやってきました。未来は旅行でお母さんの生まれた国へ行きますが、戦争や平和について深く考えさせられることに……。

15 小さいママと無人島



- ① キャロル・ライリー・プリंक/作
谷口由美子/訳 松本春野/絵
- ② 文溪堂
- ③ 1600円
- ④ 93フ017

主人公メアリは、赤ちゃん大好き、お料理やそうじもできるしっかりもの。ところが船が難破してしまい姉妹だけで救命ボートで脱出することに。たどり着いたのが南太平洋の小さな無人島。赤ちゃん4人を抱えて安全なすみかを見つれたりミルクを作ったりします。結末が楽しみになる1冊です。